

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2019**



日本ジュエリーの最高峰を求めて

JJA ジュエリーデザインアワード 2019

JJA ジュエリーデザインアワードは、日本のジュエリー業界における最も権威あるコンペティションとして、日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞の作品を筆頭に独創的で斬新な優れたジュエリーを国内・海外へ向けて発信していく場です。高い技術力とデザイン力を誇る我が国固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを提案し続けていかなければなりません。

本アワードは二部門で構成されており、第1部門「プロフェッショナル部門」では時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に既成のジュエリーの概念を打ち破る新人らしい大胆な発想のジュエリーと位置付けています。

本アワードは、これからのジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの「ジュエリーに秘めた夢」の実現の場として、世界に向けた日本のジュエリー文化の発展を求め続けます。

会期／会場 ● 2019年8月28日～8月30日

ジャパンジュエリーフェア 2019 (JJF2019)

東京ビッグサイト 西1・2ホール アトリウム アワード入賞作品展示会場

[展示作品] 全入賞作品

● 2019年9月18日～10月7日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室

[展示作品] 全入賞作品

● 2020年1月20日～1月23日

国際宝飾展 (IJT2020)

東京ビッグサイト アワード展示ブース

[展示作品] 特別賞含む上位入賞10作品 (予定)

主 催 一般社団法人 日本ジュエリー協会

後 援 経済産業省／厚生労働省／東京都／山梨県／台東区／日本貿易振興機構 (ジェトロ)／
日本商工会議所／日本経済新聞社

協 賛 公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会／一般社団法人 日本真珠振興会／
プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社／UBMジャパン株式会社

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2019**



ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会
会長

小山藤太

Koyama Touta

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指し多方面よりのご後援のもと、毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しております。このアワードは当初（第一回 1989 年）より数えますと第二十三回となり極めて歴史ある大会となっております。

今年度も内閣総理大臣・経済産業省・厚生労働省・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・日本経済新聞社と多方面からのご支援をいただき盛大なアワードとなりました。本アワードは高いデザイン力と技術力を誇る我が国固有の美しいジュエリー文化を発信する場であり、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。この開催が我が国のジュエリー文化の更なる高揚に寄与していると考えております。

今年度も第一部門「プロフェッショナル部門」、第二部門「新人部門」の二つの対象部門と致しましたが、全国から 133 点 71 作品の応募をいただきました。この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞」「経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

本年度は、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品も多く出品され、審査員の方々にはそれぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」等、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。

一般社団法人日本ジュエリー協会は、昨年創立三十周年を迎え、またアワードも初回開催から今年で三十年となり節目の年となりました。これからも時流の変化に即応したジュエリーコンテストの在り方を見直し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとしてのデザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。

審査員 講評



東京藝術大学 名誉教授 /
山梨県立宝石美術専門学校 校長

飯野一朗

Imo Ichirou

今年は第1部門「プロフェッショナル部門」の応募が例年より少なく残念でしたが、第2部門「新人部門」は応募数が増え全体のレベルも向上し見応えのある作品が集まりました。

第1部門で大賞となった作品は、シンプルで凛とした風格があり細部まで行き届いた仕上げで技術賞も併せて受賞しました。厚生労働大臣賞は、糸鋸を効果的に使い立体に表現したもので見た目より軽く装着性も良い作品です。作者は学生の時から新人部門に出品し受賞を重ね今回は大臣賞受賞となりました。これはアワードの新人育成の目的とも合致し喜ばしい事だと思います。新人大賞は、細線で全体を構成しその中に色石を巧みに留めたリングでチャレンジ精神に溢れた作品です。第2部門は、それぞれの個性が発揮され変化に富むため入選数を多くしています。

来年はアワードの指標となる会員の方々の多くの出品と新人の更なるチャレンジを期待したいと切に願っています。



ジュエリーアーティスト /
エマーユ七宝美術館 館長

梶 光夫

Kaji Mitsuo

数年ぶりに審査会に参加させていただきましたが、アワードのコンセプトにある“時代をリードし既成概念を打ち破る新たな発想”を満たすジュエリーは残念ながら多くないように感じました。

上位作品では、製作日数や費用などの努力を費やしたことが感じられる作品がありましたが、その一方で今後は小さな作品であっても上位入賞を狙える気迫のある作品が出現することを期待したいとなりました。たとえ小品であっても制作者の想いが作品に反映された見る人に感動を与える新しい発想が光る作品が多く応募されるようになり、また、それを見極める審査員の確かな目があれば、コンテストが充実したものとなり、本来アワードが求めるこれからのジュエリー業界を担う新しいクリエイターの育成と日本のジュエリー文化の発展に繋がっていくのではないかと感じました。

今回私が選んだゲスト審査員賞の作品は、大きなスケールのテーマをジュエリーという小さな世界にした発想豊かなロマンのある作品でした。この作品のように、見る側の気持ちが躍動するようなジュエリーがコンテストの主役になっていくことを願っています。

審査員 講評



専門学校ヒコ・みづの
ジュエリーカレッジ 学校長
水野倫理
Mizuno Rinri

今回2回目の審査員を務めさせていただきましたが、出展作品全体の質が高く、受賞作品は審査員の評価がほぼ一致し議論に持ち込まれる必要もほぼない状況でした。私はそれを肯定的に捉えていて、日本のジュエリーはデザイン・発想力、そして制作力が非常に高いレベルで安定していることの裏打ちだと思います。とは言え、このレベルをこれからも維持していくことにおいては、業界全体でのデザイナーや製作者の育成という未来への投資が大事だと実感しました。応募数が減っている状況はCADでのデザイン・原型づくりが普及しつつあることと関係があるのでしょうか？このアワードのこれからの在り方への課題かと感じました。



文化学園大学
造形学部 教授
押山元子
Oshiyama Motoko

熟練した技能の作品と、若さ溢れる作品が一堂に陳列された緊張感漂う会場の中で、審査基準に則り進めました。

第1部門のトップ2賞は甲乙付けがたいデザイン性と完成度で、他の追従を許さない確かな安定性がありました。その中で東京都知事賞はコンテストに挑戦を継続しながら飛躍を続ける感性を感じさせる作品です。各賞の作品にも着装効果から今後の展開を期待する作品が見られました。時代をリードする作品が増えることを願います。

第2部門の若々しい作品群では、立体造形としてのバランス、材質の扱いをスマートに纏めた作品が多くの支持を得て新人大賞と特別賞のダブル受賞となりました。他にも熱心に取り組んだ情熱の感じられる作品が多く見受けられ、挑戦を継続する中でデザイン力、技術力の向上を目指し、纏め方のセンスを更に磨かれていくことを期待します。

独創的で斬新なジュエリーを発信するコンテストとして議論の伯仲する挑戦的な作品も期待したいと思いました。



諏訪貿易株式会社 会長
諏訪恭一
Suwa Yasukazu

昨年から「JJA ジュエリーデザイン
アワード」の審査員をさせていただ
いておりますが、第2の新人部門で、昨
年以上に迫力のある作品が多く見られ
たことが印象に残りました。

審査の第1段階では審査員の総合点
が反映されますが、プロフェッショナル
の第1部門では、大きめの作品のなか
で、小さいけれども存在感のある充
実した作品が選ばれて入賞しました。
小さいながらも裏面が丁寧に仕上げら
れており、着用性が考慮された優れた
ジュエリーです。

これからの「JJA ジュエリーデザイ
ンアワード」がさらに華やかでより楽
しいものになるために、カラースト
ーンの美しさを十分に引き出した作品の
応募が増えることに期待しております。



ジュエリーデザイナー
山本朱美
Yamamoto Akemi

本年度はより作品数が減少し残念で
あり寂しい印象でした。

それでも期待をしつつ審査に臨みま
したが、第1部門、第2部門の大賞他、
数点以外、アワードに相応しいデザイ
ン性、完成度の高い作品は少なく、審
査するにも厳しいものがありました。
過去の作品傾向と変わらず、むしろ逆
行の印象さえ感じたほどです。

華美な作品に捕らわれることなく、独
創性、ストーリー性、造形美等、魅力
が伝わる作品が多くあればと思います。

作品数の減少には業界の厳しい現状
が影響しているであろうと推察すると
同時にコンテストの意義をも考えさせ
られました。

未来に向けて若手の原動力となるよ
う、活気あるジュエリーデザインア
ワードであることを願ってやみません。

審査員 講評



真珠新聞 上席執行役員
東京支社長

高田豊明
Takada Toyoaki

はじめて JJA ジュエリーデザイン
アワードの審査員を務めさせて頂き光
栄に思います。

私の選考基準としては、第一印象で
目を惹いた作品を選定し、その後で細
かい所を見て採点しました。第1部門
におきましては、上位に入選した作品
はどれも素晴らしく、最終的に入賞し
た作品も印象深いものばかりでした。
特に内閣総理大臣賞に輝いた作品は、
第一印象から目を惹かれ、デザイン性、
細部にわたる丁寧な仕上げで、技術面
でも素晴らしいものでした。改めて良
いものは、誰が見ても魅力的なのだと
実感いたしました。

第2部門におきましては、全体的に
新しさが感じられず、仕上げ等、技術
力が不足している作品も見受けられま
した。今後は、新人らしく自由な発想
で、小さくまとまることなく大胆でエ
ネルギー感あふれる作品も増える事を期待
します。

最後に、どちらの部門も真珠を使っ
た作品が少なく、来年は日本が誇る真
珠の作品も増える事を期待しています。



ジュエリークラフトマン
卓越した技能者(現代の名工)

土屋昌明
Tsuchiya Masaaki

今回、歴史あるジュエリーデザイン
アワードの審査に初めて参加させて頂
きました。

第1部門「プロフェショナル部門」
では時代を反映しているのか力作はあ
りますが、大作が少なかったように感
じました。

作品全てを手に取り、身に付けた時に
どのように美しく光輝くジュエリーにな
るのかを想像しつつ作り手としての目で
技術の裏付けも含め審査を進めました。

第2部門「新人部門」の印象は大胆
な発想、遊び心のある楽しい作品が少
なく、作品全体を綺麗に纏めようとす
る気持ちは伝わりますが、若いクリエ
ーターらしくジュエリーの常識に囚われ
ずプロフェショナルを刺激するような
作品にチャレンジすることを望みます。

技術賞につきましてはジュエリー大
賞と重賞となりましたが、大振りの
ネックレスの製作でポイントとなる首
から胸にかけてのフィットした美しい
ラインとジョイント部分の細工が丁寧
に施され、何よりも作り手が最後まで
気を抜かず完璧に仕上げた技術と心意
気が伝わり選出しました。

審査員一覧（敬称略）

審査員長	飯 野 一 朗	東京藝術大学 名誉教授／山梨県立宝石美術専門学校 校長
ゲスト審査員	梶 光 夫	ジュエリーアーティスト／エマーユ七宝美術館 館長
審査員	水 野 倫 理	専門学校 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学校長
審査員	押 山 元 子	文化学園大学 造形学部 教授
審査員	諏 訪 恭 一	諏訪貿易株式会社 会長
審査員	山 本 朱 美	ジュエリーデザイナー
審査員	高 田 豊 明	真珠新聞 上席執行役員 東京支社長
審査員	土 屋 昌 明	ジュエリークラフトマン 卓越した技能者（現代の名工）
特別賞選定員	黒 沢 秀 二	公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会 会長
特別賞選定員	大 月 京 一	一般社団法人 日本真珠振興会 会長
特別賞選定員	ハンキンソン尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長
特別賞選定員	クリストファー・イブ	UBMジャパン株式会社 代表取締役

応募作品・点数

第1部門 「プロフェッショナル部門」	23 作品	34 点
第2部門 「新人部門」	48 作品	99 点
合計	71 作品	133 点

入賞作品	32 作品	71 点
------	-------	------



日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞

経済産業大臣賞

厚生労働大臣賞

東京都知事賞

山梨県知事賞

台東区長賞

日本商工会議所会頭賞

日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞 / 技術賞

Grand Prize and Prime Minister's Award / Craftsmanship Award



デザイナー
小寺智子
Kodera Tomoko

〔製作者〕 ニューコーゲイ株式会社
〔応募者〕 株式会社 柏圭

「BLISS 無上の喜び」

バア環礁内にあるソネヴァという島を訪れた時、その自然の魅惑的な美しさと強さに触発されました。海の奥で生まれた風が深碧の島の隅々まで渡ってゆく、そんな風に体が包まれている喜びを表しています。この作品には技術者の並々ならぬ探求心が注がれ完璧な着け心地の良さを実現しています。まるで風を纏うかのように。

1990 年 Hiko Mizuno Jewelry college 卒業

2004 年 JJA JEWELLRY DESIGN AWARDS グランプリ・経済産業大臣賞／DTC 賞

2005 年 JJA JEWELLRY DESIGN AWARDS 日本ジュエリー協会会長賞／ブラチナ・ギルド・インターナショナル賞

2015 年 HRD INTERNATIONAL DIAMOND JEWELLERY COMPETITION 2015 グランプリ



ネックレス・ピアス・リングセット/K18WG/ダイヤモンド/ダイヤモンド

経済産業大臣賞

Economy, Trade and Industry Minister's Award



ネックレス/Pt900/ルベライト/ダイヤモンド・ピンクサファイア



デザイナー
西村大記
Nishimura Taiki

〔製作者／応募者〕 株式会社 桑山
〔E-mail〕 t-nishimura@kuwayama.co.jp

「Misteria」

大胆なドレープの形状は、夜風吹き込む柔らかなヴェールを。ドレープ全体に設けられたバーの動きは、夜風に揺れる藤を表現。ちらりと覗くドレープの裏側には裏取りを施し軽やかな印象に。身につけるとブリリアントカットとローズカットの異なる輝きが、幾重にも重なり咲く藤の様に、ミステリアスな女性の美しさを引き出します。

- | | |
|--------|---|
| 1988 年 | 三重県伊勢生まれ |
| 2010 年 | 国立島羽商船高等専門学校 商船学科 卒業 |
| 2013 年 | 全国ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト 審査員特別賞 |
| 2014 年 | 日本宝飾クラフト学院 卒業 |
| 2015 年 | 宇和島パールデザインコンテスト
ジュエリーデザイン A 部門 (パール・貴金属・貴石) 部門賞
ジュエリーデザイン B 部門 (パール・異素材) 入選 |
| 2017 年 | JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞／技術賞 |
| 2018 年 | JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞／プラチナ・ギルド・インターナショナル賞 |
| 2018 年 | Couture Design Awards Platinum Category WINNER |
| 2019 年 | International Jewellery Design Excellence Award Merit Award Winners |

厚生労働大臣賞

Health, Labour and Welfare Minister's Award



ブローチ・リングセット/K18/ダイヤモンド



デザイナー

三島一能

Mishima Ittou

〔製作者〕 三島一能

〔E-mail〕 itto.m.jewelry@gmail.com

「Sun Droplet」

朝日で金色に染まり、朝露で輝く山嶺をイメージしました。
偶然と必然の積み重なりによって魅力的な面の連なりと造形を出現させる自然の様に、思い掛けない良い形、人を惹きつける造形を生み出すことから、作図から成形に至るまで作為と無作為、無意識の意識をテーマとし、制作しました。

2011年 東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻 彫金 修了

2012年 日本ジュエリーアート展 大賞

2016年 第56回 日本クラフト展 毎日新聞社賞

2017年 伊丹国際クラフト展「ジュエリー」準大賞

2018年～現在 神戸芸術工科大学 アート・クラフト学科 助教

東京都知事賞 /

プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

Governor of Tokyo Award / Platinum Guild International Award



フィンガーレスバングル/Pt900・Pt850/ダイヤモンド



デザイナー

石井理乃

Ishii Rino

〔製作者〕 工房 Z

〔応募者〕 株式会社 エヌジェー

「Dia-glass」

柔らかく静かに揺れ動く砂時計
時間の流れは止められません。今という時間を大切にしたいという
思いを込めました。

柔らかく揺れ落ちる砂をチェーンで表現し、「今」という輝いてる
時間をダイヤで表現しました。

千葉県生まれ

2002 年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

2006 年 JJA ジュエリーデザインアワード 第2部門 優秀賞

山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



ネックレス/K18WG・ルテニウムめっき/アレキサンドライト/ダイヤモンド



〔製作者／応募者〕 株式会社 ナガホリ

「和 ～ harmony ～」

夜明け前の静寂の中、和やかな風にそよぐ梅枝からのぞく明星。春の到来を告げる梅の花をモチーフに明けゆく新しい時代の瞬間を表現致しました。

昼と夜の光によって表情を変えるアレキサンドライトを使い神秘的な影絵のようなジュエリーに仕上げました。

デザイナー

中尾美穂

Nakao Miho

武蔵大学 人文学部 卒業

2007年 タヒチアンパールのトロフィージャパン リング部門1位

2008年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

2010年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞／日本真珠振興会会長賞

2011年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本真珠振興会会長賞

2018年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞／日本真珠振興会会長賞

台東区長賞

Mayor of Taito City Award



ネックレス・ピアスセット/K18WG/トルマリン/ダイヤモンド・レッドスピネル



デザイナー

松村珠世

Matsumura Tamayo

〔製作者／応募者〕 株式会社 ナガホリ

「Hang a jewelry」

胸元をU字、V字で表現するジュエリーが多い中、直線的なデザインを作成したい思いがありました。イメージしたものは、デコルテに一体感をもたらすネックレスです。

直線要素をどのように表現するか考えた結果が、吊るすことでした。ダイヤモンド・レッドスピネル・ピンクトルマリンこの3つの素材で構成美を表現しました。

1996年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

同年 株式会社ナガホリ 入社

日本商工会議所会頭賞 / ゲスト審査員賞

Chairman of the Japan Chamber of Commerce and Industry Award / Guest Judge's Award



ペンダント/K18・Pt900・K18WG/ルビー/シトリン・ダイヤモンド



デザイナー

山中千里

Yamanaka Chisato

〔製作者〕 多田孝之・谷口勇

〔応募者〕 多田商店

「水の中の太陽 Le soleil dans l'eau」

さざめく水面をイメージしたシトリンの底に輝く 紅い太陽。
大らかな生命の賛歌を、躍動するイルカ達が謡い、その刹那
溢れ出すエネルギーが連なるダイヤのハッピーリングとなって
寿ぎの心を紡いで行く。

命ある者、全てに幸せを、との想いを表現した作品です。

1962 年 大阪生まれ

2018 年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

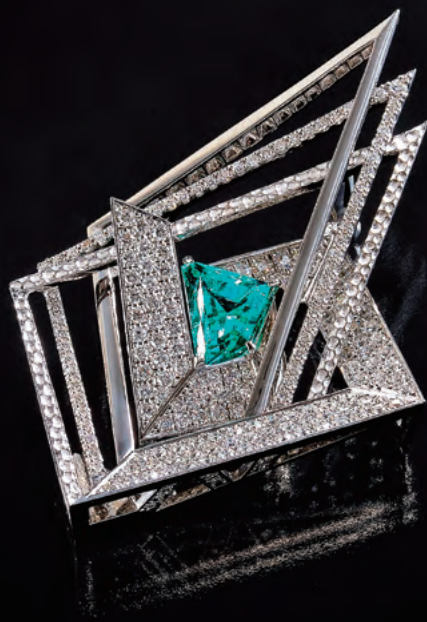


第1部門

プロフェッショナル部門

優秀賞

Award of Excellence



ブローチ兼ペンダント/K18WG/パライバトルマリン/ダイヤモンド



デザイナー
内田千奈美
Uchida Chinami

〔製作者〕 株式会社 KARAT

〔応募者〕 株式会社 近藤宝飾

〔E-mail〕 kofu@kondo-gem.com

「SPIRIT 時空を超えて」

美しいネオンブルーを放つパライバトルマリン、太古の地層から何千万年もの歳月を経て、我々を魅せる凜とした魂－SPIRITを感じられる。中石の形状を生かし、時空感を槌目、ダイヤ、鏡面という異なる質感で表現。

未知なる世界を開拓する先駆者達に捧げて～

2014 年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

2016 年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー協会会長賞

2017 年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

佳作 / 日本真珠振興会会長賞

Honorable Mention / Japan Pearl Promotion Society President Award



ネックレス・ピアスセット/K18WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド

「氷瀑」

日本の豊かな自然が織り成す氷の芸術「氷瀑」を、アコヤ真珠とダイヤモンドのみでデザインし、ジュエリーとして昇華させました。真珠とダイヤモンドはランダムかつ非対称に配しながらも、全体としてはバランス良く対称性を持たせ、ジュエリーとして永く愛されるシルエットを追求しました。

デザイナー

関戸智美

Sekido Tomomi

〔製作者〕 土橋昌仁

〔応募者〕 株式会社 中込宝飾

〔E-mail〕 info@nakagomi-pearl.co.jp

佳作

Honorable Mention



リング/K18/ピンクトルマリン・アメシスト・アクアマリン・シロチョウ真珠・クロチョウ真珠・ダイヤモンド

「花火」

花火を見ると誰もが笑顔になり、満足して帰途に着きます。令和になり益々笑顔が増える事を願い、色とりどりの石を使用して、壮大な花火がイメージできる様に、立体感を出したデザインにしました。

デザイナー

宮本恵美

Miyamoto Emi

〔製作者〕 宮本恵美

〔応募者〕 アンシャンテ

入選

Nominated



自在置ペンダント/Pt900・K18/ダイヤモンド

「金魚」

生きている物の動きにこだわり日本伝統の自在置で作りました。金魚がもつ可愛さと、柔らかな動きを表現しました。

デザイナー

松井崇治

Matsui Takaharu

〔製作者〕 松井崇治

〔応募者〕 有限会社 ひこみ宝飾

〔E-mail〕 brad.takapitt@gmail.com

入選

Nominated



ブローチ兼ペンダント/Pt900/ダイヤモンド/ダイヤモンド

「森の雫」

苔むす森の木々に鳥の囀り。

偉大なる自然に浄化された水が木漏れ日に照らされ滴る様を表現しました。

デザイナー

井上美可

Inoue Yoshika

〔製作者 / 応募者〕 株式会社 和光

〔E-mail〕 info@wako-jewelry.co.jp



第 2 部門

新人部門

新人大賞・日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

New Talent Grand Award / Japan Jewellery Designers Association President Award



リングセット/SV950・金めっき/スモーキークォーツ・合成サファイア・ガーネット・ブルートパーズ/CZ



デザイナー
小谷一典
Kodani Kazunori

〔製作者〕 小谷一典

〔E-mail〕 kk05112171@icloud.com

「formation」

銀の線材というシンプルな素材を用い、どれだけ魅力的な形を作れるかということをテーマに制作を行っています。

本作品では宝石を指輪の核に見立て、銀線が核である宝石を守っているように見えたり、また取り込もうとしているように見えたりと、作品に触れた方々が、それぞれの解釈で楽しむことができるジュエリーを目指し制作しました。

1996年 京都府生まれ

2017年 JJA ジュエリーデザインアワード 新人部門 入選

2017年 2017 伊丹国際クラフト展 ジュエリー 入選

2019年 神戸芸術工科大学 大学院 総合アート & デザイン専攻 在学中

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



ブローチ/SV・七宝・LED ライト/フェルスパー/シトリン・アコヤ真珠

「vitality ～生命力～」

静かにたたずむ植物から水滴がにじみでている。ふとそんな光景を見たとき、「力強い生命力」を感じたので作品としました。

植物の様子を省胎七宝と宝石で表現し、LED ランプで照らすことで内に秘めた力強い生命力を表現しました。



中田陽子

Nakata Youko

愛知県生まれ

2016 年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

2017 年 日本宝飾クラフト学院名古屋校 卒業

2018 年 日本ジュエリー展 入選

2018 年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

[E-mail] info_4jewelry@yahoo.co.jp

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



ブローチセット/SV950・電着カラーめっき

「Blood Rush」

植物の体内に流れるエネルギーを可視化させ、生命力溢れる様子を表現しました。小さな姿でありながらも、いきいきと成長する植物をジュエリーとして身に着け、人々に元気や喜びを感じてもらいたいという思いで制作しました。



山本理緒

Yamamoto Rio

1997 年 大阪生まれ

2019 年 神戸芸術工科大学 卒業

現在 神戸芸術工科大学大学院 在学中

[E-mail] grade8.h@icloud.com

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



ネックレス/SV925/ブルートパーズ/アクアマリン

「chiocciola」

幼い頃、カタツムリは汚いから触ってはいけないと教えこまれ、カタツムリ＝汚いという偏見があった。しかし、カタツムリには復活・再生の意味があると知り、モチーフとしての魅力を感じた。この作品は、カタツムリは汚いという自分の中の偏見から解き放たれ、新たな姿として再生したカタツムリのイメージを表現している。



田口 美沙登

Taguchi Misato

1994 年 岐阜生まれ

2019 年 武蔵野美術大学 在学中

入選

Nominated



ブローチセット/SV950・金めっき・ステンレス

「Bokeh」

切削面の表情から光をイメージし、中でも、『玉ボケ』という現象をモチーフとし制作しました。

後藤 溪

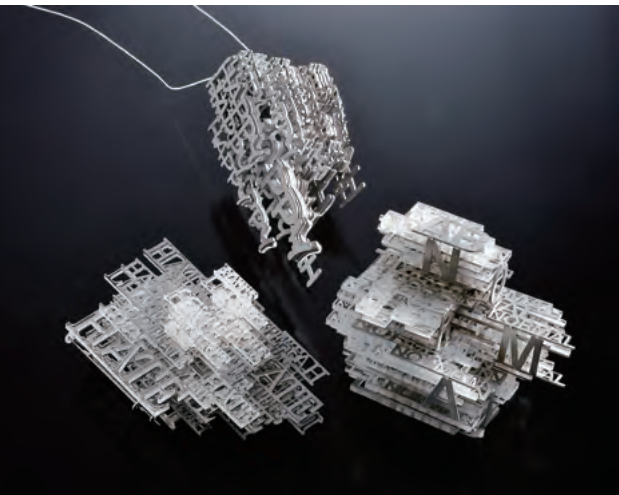
Gotou Kei

[E-mail]

littldevil.kei.crybaby1997@gmail.com

入選

Nominated



ブローチ・ペンダントセット/
アルミニウム・アクリル・ポリエステル

「doxa」

人間関係における思い込みから発想を得て、表裏の感情や相対する考え方を文字を用いて可視化しました。

下小野田 夏子

Shimoonoda Kako

入選

Nominated



リングセット/SV950・金めっき

「Jewel of the sea」

他の物に着いて生きる固着動物をモチーフにし、人が身に着けることで生きるジュエリーを制作しました。

武内菜月

Takeuchi Natsuki

[E-mail] 99nutlvmake@gmail.com

入選

Nominated



ネックレス/SV925/シトリン・クォーツ・CZ

「Petit Jardin」

小さな庭をテーマにしました。蝶や蜂の羽は銀線をよって作り、花の一つは取り外してピンとして使えます。

樺沢実栄

Kabasawa Minoha

入選

Nominated



リング・バングル・タイバー・カフスポタン・
ピンブローチセット/SV925・銅

「霰」

古くから伝わる市松模様を、銀と銅の継ぎ合わせによりジュエリーへと仕立て上げました。

高塚 樹

Takatsuka Itsuki

入選

Nominated



ポシェット/SV925・SV970/モルガナイト・淡水真珠

「INRO」

江戸時代の男性の装飾品である印籠をテーマに現代版の印籠を制作した。キルティングのようなふっくらさを表現した。

鈴木紗弥

Suzuki Saya

[E-mail] ccandooand@gmail.com

入選

Nominated



リングセット/SV925・金箔

「Liquid」

金属が液体のように流れる様をイメージし、リングに落とし込みました。自然な動きと人工的な動きを組み合わせ、アクセサリはキラキラと美しいものという固定概念とは裏腹に少し気色悪いような雰囲気も出すようなデザインにしました。

新門海波

Shinmon Minami

入選

Nominated



ブローチ/SV925・SV820・真鍮

「Insomnia」

眠れない人々の元へ眠りを届ける存在がテーマです。鯨の皮膚感と骨を、生々しくも可愛らしく表現しました。

北野真奈

Kitano Mana

入選 / JJF 賞

Nominated / Japan Jewellery Fair Award



ネックレス/塩化ビニル・SV850/クォーツ/
メノウ・ローズクォーツ・ガラス・クォーツ

「水面」

刺激を受け、混ざる。反射する。
纏う。水のように特定の形を持た
ず、変化し続けるイメージで制作
しました。

柳 琴音

Yanagi Kotone

入選

Nominated



バングル/SV925・K18YG/クロチヨウ真珠/
アコヤ真珠・淡水真珠

「調和」

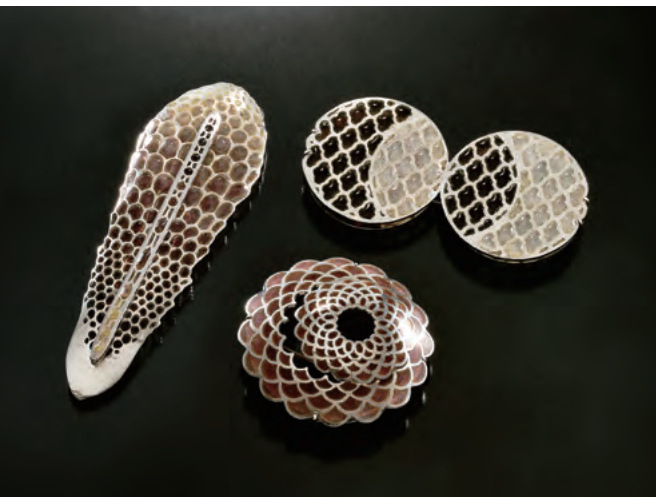
堅牢な竹と柔軟な真珠のイメージ
のバングルを創作しました。
和の美しさを相対的なイメージを
持つ2つの物で表現しました。

趙 軍

Zhao Jun

入選

Nominated



ブローチセット/SV999・SV950・七宝

「Move on」

模様が動き出し、これからどこへ行くかと期待を膨らませているイメージを透胎七宝を用いて表現しました。

宮田七彩

Miyata Nanasa

[E-mail] nana4126@icloud.com

入選

Nominated



ペンダントセット/SV925・塗装・正絹・K24・K18

「鰹」

魚のメリハリ感を表現する事と、金属の質感も大事にしたいと考えて、体の作り方、頭とのつながり、銀の表面処理などを工夫し、魚の表情も一匹ずつ変化をつけました。

牛 若晨

Niu Ruocheng

[E-mail] toddme@live.cn

入選

Nominated



リングセット/コバルトクロム合金

「楽雅楽」

和装に合う色彩豊かな指輪は
加熱発色の温度管理や釉薬の
調合焼き付けに注力いたしました。

中村恵章

Nakamura Yoshiaki

[E-mail] keita.dw.98@gmail.com

入選

Nominated



リング/SV/クォーツ

「Sphere」

360°どこから見ても完璧な形状で
ある球体で構成されたリングを作
りました。球体に変化をつけ遊び
心を入れました。

伊賀 梓

Iga Azusa

入選

Nominated



ブローチセット/アクリル・SV950・金めっき

「半透明な植物

(Translucent Plants)」

植物の「瑞々しさ」や「生命力」をテーマに、日本の繊細な四季を生きる植物のイメージを元に制作しました。

清宮百穂

Seimiya Momoho

入選

Nominated



ネックレス/SV925・コンクリート・顔料

「未完の美」

満月より幾分欠ける十三夜月と秋に茂る竹。侘び寂びの心、質素で静かな美しさをコンクリートで表現した。

奥山大雅

Okuyama Taiga

[E-mail] okuyama.taiga@icloud.com

一般社団法人 日本ジュエリー協会

会長 小山 藤太

デザインアワード委員会

委員長

西田 良洋

副委員長

小玉 実

委員

山崎 裕見子

日笠 祐二

飯田 孝子

庭崎 泰行

編集

一般社団法人 日本ジュエリー協会

デザインアワード委員会

撮影

Studio A-Vipc

印刷

山口北州印刷株式会社

発行日

2019 年 8 月 28 日

発行

一般社団法人 日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25

TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599

<http://www.jja.ne.jp> E-mail: ja@jja.ne.jp

禁無断転載複写



一般社団法人日本シユエリ協会